

●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第2194回例会記録

《ロータリー財団委員会担当例会》

2021年11月18日(木)

点鐘 12：30

レポート No. 1626

四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは。11月は、ロータリー財団月間です。本日の例会は、ロータリー財団委員会担当例会です。吉田賢治財団委員長にお願いしております。

ロータリーの友 11月号を少し紹介します。スクリーンには、ロータリーの友電子版を映します。ロータリー財団月間の特集として、「インドで出会った笑顔の子どもたち」というタイトルで、インドでのポリオワクチン投与活動について掲載されており、インタビュー形式で八戸ロータリークラブの小林幹夫会員が載っております。少し、読み上げます。「皆さんはなぜインドでのワクチン投与活動をすることになったのですか？(小林) まず本活動が生まれた経緯をお話ししましょう。2001年1月に、当時の第2830地区(青森県)のガバナーで小児科医の関場慶博さんがインドでのポリオワクチン投与活動を企画、実施したのが始まりです。参加者は30人弱で地区内ロータリアン、家族、ローターアクターなどが参加しました。その後、毎年、他地区のロータリアンも参加されるようになりました。」特集記事の中では、ポリオはどんな病気なのかやロータリーが果たしてきた役割について書かれていますので、まだ、お読みになっていない方いらっしゃいましたら、ぜひお読みいただければと思います。

もうひとつ、今年度は、マイロータリーを活用するというのを掲げていますので、マイロータリーの画面をスクリーンに映します。マイロータリーの「行動する」>「ご寄付」>「今すぐご寄付」と選択しますと、「寄付先をお選びください」年次基金やポリオ根絶、ポリオ根絶支援自転車レースと出てきます。そして金額を選んで、クレジットカード情報を入力すると手続き完了となります。寄付先については、重点分野や、恒久基金、グローバ



《出席報告》中村委員長

正会員数31名。本日の出席は免除会員5名を含む19名。出席率は70.4%です。



ル補助金など選ぶことができますし、わからない用語については、解説を見ることもできます。以前、地区の補助金セミナーで円と米ドルを間違えて寄付してとんでもないことになったという話を聞いたことがあります。みなさんも気を付けて寄付していただければと思います。

《米山功労者》



第7回 長嶺会員

《配偶者誕生日》



熊谷会員

《幹事報告》慶徳幹事

・例会変更のお知らせ、八戸北RC12月21日(火)時間変更、12月28日(火)任意休会、八戸中央RC12月20日(月)時間変更、12月27日(月)任意休会です。両クラブとも通常例会を行っておりメーキャップ可能です。



。ハイライト米山、ザ・ロータリアン英語版が届いています。

。清川エレクトより次年度の理事役員予定者の皆様にプリントを配布しましたが、12月2日の年次総会でのご挨拶、よろしくお祈りいたしますとのことです。

《ニコニコボックス》米内副委員長

西尾会長：ロータリー財団委員会担当例会よろしくお祈りいたします。

慶徳幹事：吉田委員長、本日はよろしくお祈りいたします。

松田会員：ロータリー財団委員会担当例会です。吉田委員長よろしくお祈りいたします。

配偶者誕生日：熊谷会員



《ロータリー財団委員会》吉田賢治委員長



本日西尾会長と慶徳幹事より財団とポリオプラスにご寄付を頂きました、ありがとうございます。今日はロータリー財団担当例会です、よろしくお祈りいたします。

ロータリー財団というのは皆様からのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てております。100年以上前に創立されて以来ロータリー財団は教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してまいりました。一つ一つのご寄付により世界中の地域社会を少しずつ変えていくことが出来ます。ロータリー財団の使命はロータリアンが人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、そして平和を構築できるよう支援することです。

皆様のご寄付が世界にもたらす影響として三つほど書いてあります。まず一つ、わずか60セントで、1人の子どもをポリオから守ることができます。二つ目、50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます。三つ目、500ドルで、いじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境を作ることができます。実際に財団へのご寄付の活用例としてこちらに三つあります。左から、「嵐が過ぎ去ったあと」ということで過去80年の気象観測の中で最大と言われたハリケーン「マリア」に見舞われたプエルトリコの地域社会を支援するためにロータリークラブが力を合わせております。まん中ですが、けれども「明かりの力」アメリカのコロラド州のクラブでは財団を活用して電力の通じていない人里離れたナバホ族居住地の家庭に200以上のソーラーライト



を設置しました。右側は「頼れる場所がない人びとのために」ということで、ロータリアンである医師、ピア・シュカラビス・ケルフェルトさんは、長年ドイツ、ベルリンの難民を支援する医師のボランティア

ネットワーク構築に身をささげてきました、とあります。こういった形で皆様の寄付が世界で活用されています。

これは、グローバル補助金の使い道という所ですが、水色の部分から右回りに、教育の支援、地元経済の発展、疾病との闘い、母子の健康、平和の推進、水と衛生ということで、水と衛生は当地区のプロジェクトでも行っており、長嶺会員もガバナーとしてタイへ赴き活動なされました。この円グラフと言うとグローバル補助金の半分以上が疾病との闘いということで7億2千900万ドルという大きいお金が使われております。



アメリカ合衆国の地図です。RI本部、財団のある場所はイリノイ州のエバンストンという所です。黒田会員も長嶺会員も行かれていますので分かっていると思いますが、皆さんはあまりご存知ではないかと思ひ、私も調べるまで全然知りませんでした。五大湖の中のミシガン湖という対岸まで100キロもあるような大きな湖のほとりにシカゴという大きな町があります。アメリカで4、5番目に大きな都市ですが、そのちょっと下の所にあるエバンストンという町にRIと財団の本部があります。ロータリー財団には協力財団として、日本、オーストラリア、カナダ、ブラジル、イギリス、インド、ドイツの7つあります。ちなみに地図のここにチェックしてあるところは3年前に、RI会長として八戸で行われたIMに来てくださったマーク・ダニエル・マローニー元RI会長、今は財団の理事としてご活躍されていますが、所属するアラバマ州のDecaturロータリークラブのあるところ。八戸でのIMには姫路ロータリークラブの三木明RI理事(当時)も来ていただきましたけれども、三木元RI理事も今はロータリー財団の理事としてご活躍されております。

次にロータリー財団の歴史です。ロータリーが創設されたのは1905年、ロータリー財団が創設されたのは1917年、当時のアーチ・クランプ会長が「世界でよいことをするための基金を作るのが、極めて適切であると思われまふ」と提案されロータリー財団が設立されました。財団の歴史が書いてありますが、私の生まれるずっと前です。私が生まれたのは1961年ですから「地区の組み合わせプログラム創設」1963年とありますがちょうどこのころでカール・ミラー会長のあたりです。

時間が無くなってきましたので公益財団法人ロータリー日本財団のお話に移らせて頂きます。「公益財団法人ロータリー日本財団は、ロータリーの奉仕の理念に基づき、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを目的としています。」これはロータリー財団と基本的に全く同じものがございます。この中に奨学金がありますけれども、世界のニーズにこたえて平和に貢献していく若者を育成するために奨学金を提供しています。こちらはロータリー日本財団の理事の方々のメンバー表です。理事長は千玄室様で第15代裏千家の家

元です。当クラブの黒田元 RI 理事は 3 人の副理事長のお一人として奨学金を担当され、沢山の希望奨学生をチェックをされ奨学生決定の大事なお仕事をされております。先程お話に出てきた三木元 RI 理事もロータリー日本財団の理事としても活躍されております。千理事長の挨拶文をかいつまんでご紹介します。「公益財団法人ロータリー日本財団は、平成 22 年 (2010) 年 12 月 24 日、内閣府より公益財団法人としての認可を受けました。依頼、日本各地のロータリークラブ会員の皆様、ご関係各位のご支援に支えられ、10 年の軌跡を残してまいりました。私は、この度令和 2 年 9 月 9 日にオンラインにて開催いたしました定時評議員会において、理事に再任されました。続いて開催致しました臨時理事会にて、理事長職の再任を要請され、受諾致しました。令和 2 年 9 月より 2 年間、引き続き理事長を務めさせていただきます。(中略) 幸い、昨今の困難な状況の中でも、昨年度は 19 億円を超えるご寄付を頂く事が出来ました。これらを基に、奨学金事業を初め、理念を同じくする、国際ロータリーのロータリー財団の公益事業への支援も行っており、日本全国及び海外に約 3 万 5 千あるロータリークラブと 1 2 0 万人を超える会員が、様々な形で世界の平和と人々の生活をより良くするための活動を支援しております。志のある皆様のご意思を未来へと受け継ぐため、持続可能な世界を次世代へ繋げるため、これからも私たちは諦めることなく、活動を続けます。どうぞ皆様の温かいご支援をよろしくお願い致します。」ということですので。

最後に地区補助金について、今週の日曜に西尾会

長、清川エレクト、大橋会員と私の 4 人で青森での財団セミナーに参加して参りますが、地区補助金による活動の種類として 4 つほどあります。一つは、人道的プロジェクト (奉仕活動を行うための現地への渡航や災害復興活動など) 二つ目は、奨学金 (教育機関のレベルや場所、支給期間、専攻分野の制約なし) 三つ目は、青少年プログラム (ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者育成プログラム「RYLA」、ローターアクト、インターアクト) 四つ目は、(専門職業をもつ人びとから成る職業研修チームの派遣「現地の人びとに職業研修を行うチーム、又は現地で職業スキルを学ぶチーム)」ということですので、こういった活動の種類かございますけれども、この中で南ロータリークラブの活動は毎年 2 月に行っている「よろず相談」を地区補助金事業として申請し、活動させて頂いております。

いろいろとお話させていただきましたが、全てのベースになっているのが皆様のご寄付です。皆様のご寄付で財団が成り立っています。途中お話をさせて頂きましたけれども、60セント、今のレートで 70 円位のお金でポリオワクチン 1 回分、子ども一人の命を救えます。ほんの少しの皆様のお気持ち、余裕のある時にちょっとずつでもロータリー財団へのご寄付をお願い出来れば、ここにいらっしゃる皆さんの人数 × 金額になれば大きな力になるかと思えます。皆様のお力をお借りしながら、もっともっといろいろな形で、回りの皆さんを幸せに出来ればと思っていますし、クラブに対しても私も頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願い致します。